平成 30 年度 第 5 回理事会議事録

◇日時：平成 31 年 1 月 16 日(水)19:10～21:50

◇場所：宮城県臨床検査技師会 事務所
仙台市若林区清水小路 5-6 エステート五ッ橋 704 号
TEL：022-723-4896

◇出席者：藤巻、大柳、渡辺、鈴木（里）、佐藤、高橋、小塚、阿部、高崎、今野、及川、小野寺、鈴木（宏）、武田各理事、大森監事、丸勢監事

◇欠席者：菅原、播磨、金沢 各理事

◇議長：藤巻 慎一

◇書記：鈴木 宏

1. 前回議事録の確認

承認された。

2. 理事行動

藤巻：

11/9 平成 30 年度北日本支部内連絡会議 クラウンパレス青森

1/11 平成 30 年度仙台市医師会新年会 江陽グランドホテル

1/25～1/26 予定 情勢報告会・国会見学、賀詞交換会、全国監事連絡会

日臨技会館他

鈴木宏：10/27～28 検体採取等厚生労働省指定講習会 仙台市

小塚・播磨：11/20 平成 30 年度仙台市衛生検査所立入検査打合せ会

仙台市役所本庁舎

大森：10/29 公益財団法人仙台市救急医療事業団平成 30 年度第 2 回理事会

仙台市急患センター

渡辺：1/5 宮城県医師会新年会 ホテルメトロポリタン仙台

3. 審議事項

【会長】藤巻慎一

1) 宮臨技施設代表者連絡会議の開催について（資料 3）

目的：今後の宮臨技活動を発展させるため、多くの施設代表との連携をはかり、ニーズを把握する必要がある。

日時：2019 年 3 月 9 日（土）12 時から 13 時 40 分まで（14 時より精度管理報告会および精度管理研修会あり）

場所：仙台市医師会館 5F 大会議室

内容：自己紹介、宮臨技活動の紹介と協力依頼、各施設からの要望や意見、その他

運営：事前登録制（積極的な案内）、弁当配布、担当は事務局または副会長。

⇒以上、承認（その後、大柳副会長が運営を担当することになった）

2) 第 51 回みやぎ医学検査学会の日程および学会実行委員会の立ち上げについて

日時：2019 年 6 月 23 日（日）9 時から 17 時頃まで

場所：東北大学医学部星陵会館（星陵オーディトリウム、大会議室、小会議室）（第50回学会と同じ）

基本コンセプトとして、学会運営全般（企画、進行、会場など）については学術・精度管理部で企画運営を行い、学会運営の経験をしてもらう。事務局作業については、学会事務局担当を置く。また、技師会事務局、会計部長は連携必要なので入る。当然、理事、監事、事務員は全員でサポートして欲しい。

学会実行委員：学会長：藤巻会長、実行委員長：小堺、副実行委員長：高崎、学会事務局長：播磨、菅原、阿部各学術部理事、渡辺副会長、鈴木（里）事務局長、今野会計理事。必要に応じて学術部門長などを加える。

今後の予定：早急に第1回みやぎ医学検査学会実行員会を開催し、内容を決定して、2月定期便で詳細な案内を行う。

⇒以上、承認

3) 臨薬協からプロモーションコード地区会のお知らせ（資料4）

日時：2019年2月18日（月）14：30～16：30 橋本ビルディング

宮臨技代表者1名以上出席して欲しいと日臨技からの要請あり。例年、岩手臨技は出席。宮臨技は欠席。

⇒渡辺副会長が参加することに決定（追加で小堺理事も参加になった）。

【事務局】鈴木里香

1) 定期便の在り方についてアンケート（総会開催案内に同封）を行いたい。

選択式：

①HP掲載とJAMTS一斉メール案内(企画名と日時)のみ

②施設に1通DM便発送し、個人宛て発送は行わない。HP掲載とJAMTSメール案内(企画名と日時)する。

③現状のまま（個人宛発送の経費負担増のため会費値上げも考慮する）

⇒上記①～③についてアンケートを取り、総会時に報告をする

2) 貸し出し用ノートPC 購入（H31年度予算化）について

現行PCより動画再生、出力端子、ウィルス対策等に優れた機種を希望する⇒承認
鈴木宏理事より、合わせて事務所のインターネット用ルーターについて更新の希望あり⇒購入後の年数経過を考慮し、Wi-Fi対応の機種への更新を承認

3) H31年度 → 2019年度に統一するかについて

⇒来年度（平成31年度）までは“平成”で統一する

4) 会費について

現在、年度途中で他県から異動してきた方は、宮臨技年会費初年度免除（昨年度14名、今年度9名の会費免除）。他県へ異動・退会の方は、日臨技から返金連絡がくれば返金しているが、来期からは宮臨技定款、日臨技規程に準じた会費納入取り扱いとする。年度の途中で入会した会員も当該年度の会費を納める。会員が年度途中で退会した場合も一旦納入された入会金及び会費は返還しないこととする。（2月に次年度会費納入後、3月中の退会申請は返金）

【総務部】高橋拓史

運用規程「慶弔および見舞いに関する規程」の改定について

現行の規程にある会員の結婚に関する部分の削除する改定案を作成

⇒承認

【学術部】小堺利恵

メーカーの機器借用、講師派遣について

依頼書や趣意書等は必須なのか、またそれは協賛か共催で必要是非が異なってくるのか、学術マニュアルの変更等も加味しつつ、明確にして欲しいという部門員からの声があった。

⇒メーカーと共催というケースは稀であるため、原則協賛という形で、機器借用、講師派遣の際は、趣意書を作成することとなった（メーカー側が不要とのことであれば、作成不要）。

【精度管理部】播磨晋太郎（小堺学術部長代弁）

1) 精度管理報告会・研修会の参加費について

報告会：無料、研修会：会員無料・非会員 500 円⇒承認

2) 精度管理報告書について

現在、精度管理報告書については、各部門の詳細な解説もありページ数が増加傾向（今年度は 300 ページ）にある。それに伴い、印刷費用も増大している。HP を活用していく事で印刷費用を抑えていきたい。その為に、来年度以降は、まず各施設の結果一覧を削除し、パスワードが無い状態で閲覧できるようにしていきたい（日臨技 Web システムの活用促進）。また、各部門の要綱も削除（日臨技 web で閲覧可能）することで 100 ページ程度の削減を行う。

⇒承認

3) 血液部門のフォトサーベイについて

北日本支部各県合同のフォトサーベイ（評価対象外）のものを加えたい。

⇒調査目的を明確にし、精査した上で実施する方向で進めていく

【公益事業部】小野寺佳子

1) 宮臨技パンフレット作成について

宮臨技のパンフレットを作成してみてもどうか。

⇒パンフレットは必要ではないかと考える。既にパンフレットを作成している技師会のものを参考にしながら、検討していく。

2) 来年度検査と健康展について

来年もイオン富谷店での開催を考えている。

⇒承認

開催日については、第一候補を 11 月 9 日(土)とし、イオン富谷店へ要望することになった。

【広報部】金沢聖美（武田広報副部長代理説明）

理事会議事録掲載・発行方法について

紙ベースの運用継続案（事務所印刷による発行や各県の状況調査、編集人員増加を加味した広報会誌の発行頻度増）とホームページ（以下 HP）での掲示・周知案（日臨技は HP に都度迅速に議事録を掲載し会員への周知、他県技師会も掲載事例複数有り）を検討した。

注意点：宮臨技定款に『理事会で議決、決定及び承認した事項を会報に掲載し、会員への周知を図る』と明記されているため、HP のみの掲載とする場合は、総会にて定款の変更を審議し特別決議（正会員の 2/3 以上の賛成で可決）が必要（鈴木事務局長）

⇒作業負担と経費削減を考え、次総会に定款改定を提案し HP 掲載のみの運用を図

りたいとの広報部意見であったが、理事会にて審議の結果、理事会の議事録に関して、従来通り会報掲載（ニュースみやぎ）を継続し、かつ全文記載とする。並行してHPへの掲載も行うこととした。（HP掲載の際は、理事・監事以外の個人氏名など個人情報取り扱いに留意する）

【会計部】今野かおり

平成31年度予算案について

- 1) 変更点：これまでの実績を鑑み、収入の雑収入金額、支出の諸謝金金額を変更したい。宮島セミナーの支出を交際費から諸会費・負担金へ変更したい。
- 2) 問題点：収入と支出のバランスが悪く今回も200万円超の赤字予算となっている。収入を増やすことができないか。

⇒変更点については承認。収入については、藤巻会長が他県の賛助会員会費一覧を提示して会費の値上げ（20,000円→30,000円）を提案し、承認された。また、新規賛助会員の勧誘をしていくこととなった。

4. 報告事項

【会長】藤巻慎一

- 1) 平成30年度仙台市医師会新年会に出席し、医師会会員、関連団体、行政、代議士等、多数の参加があり親交を深めた。
- 2) 日臨技組織強化のための理事構成等の見直しについて（答申）について、全理事にメールで確認の上、意見を回答した。（資料5）
- 3) 東臨技から災害見舞金の取り扱いの審議メールがあり、各県で分配することのこと。大花東臨技会長に一任する旨を回答した。（資料6）

【事務局】鈴木里香

- 1) 記念誌 事務所発送分対応（名誉会員・記念式典ご招待の方々・物故会員）
- 2) 宮臨技HP掲載：日臨技関係（精度管理eラーニング開校・医学検査学会演題募集延長等）、『福見秀雄賞』『小島三郎記念技術賞』の推薦について
- 3) 宮臨技アドレス member@miyagi-ringi.org にいたずらの可能性があるメールエラーリプライがあった。宮臨技・日臨技の業務外での利用は控えるよう要請。
- 4) 慶弔関係の事務所対応について報告

【総務部】高橋拓史

特になし

【学術部】小堺利恵

- 1) 宮臨技研修会、共催（企業含む）企画開催履歴（2018年10月20日以降）について以下の通り報告があった。

※下線は宮臨技共催、参加者数は会員のみ

企業協賛研修会は**太字記載**

2018年10月20日 臨床検査総合部門研修会 146名

2018年10月20日 第6回 感染症診断フォーラムー東北ー 32名

2018年10月21日 宮城超音波倶楽部 29名

2018年10月27日 第24回 東北感染症研究会 7名

2018年10月27日 杜のみやこ臨床化学研究会 10名

2018年11月4日 病理・細胞診検査部門研修会 18名
2018年12月1日 生物化学分析部門研修会 62名
2018年12月8日 血液検査部門・遺伝子検査部門合同研修会 35名
2018年12月8日 第8回 東北病理技術研修会 112名
2018年12月15日 第1回 東北コアグレーション症例研究会 46名
2018年12月16日 宮臨技ニューリーダー育成研修会 28名
2018年12月22日 社のみやこ臨床化学研究会 39名

2) 宮臨技研修会、共催（企業含む）企画開催予定（2019年1月16日以降）

※承認済の研修会、下線は宮臨技共催

企業協賛研修会は**太字記載**

2019年1月19日 生理検査部門研修会
2019年1月26日 微生物検査部門研修会
2019年1月26日 第18回東北臨床感染症研究会
2019年2月2日 血液部門研修会
2019年2月2日 生理検査部門研修会
2019年2月9日 遺伝子検査部門研修会
2019年2月16日～17日 平成30年度認知症対応力向上講習会B
2019年2月17日 輸血検査部門研修会
2019年2月23日 第5回 宮城県検査から診断・治療を考える会

3) WEB アンケート実施について

2019年1月19日の生理検査部門研修会(心電図)にてGoogle フォームを用いたアンケートを実施し、次回結果の報告の報告をする予定。回収率が低いことから、こちらの結果を踏まえ、今後の実施是非を検討する。2018年10月20日開催の臨床検査総合部門研修会では33件の回答があった。

4) 学術規約の見直しについて

現在の運用から変更すべき点などの洗い出しを実施している。次回以降の理事会にて報告予定。

5) ある部門の研修会講師派遣依頼における手続き時に、相手側の施設の規程（依頼状の1か月前提出）に合わないという不備があった。これを受けて、各部門長には注意喚起のメールを配信し再発防止対策を行った。

6) 部門ミーティングの実施について

今年の研修会年間計画及び精度管理についての企画会議を実施予定である。一般部門、病理部門、遺伝子・染色体部門から既に申請があり承認している。

7) 乳房超音波技術講習会開催について（渡辺副会長）

2019年4月6日～7日の2日間で開催される。60名の定員に83名の応募があり、今回は東北の技師を優先して選考した。

【精度管理部】播磨晋太郎（小堺学術部長代理説明）

1) 精度管理報告会・研修会を2019年3月9日(土)に開催する。

2) 今年度の精度管理調査の支出について

管理試料・送料・報告書・報告会経費等で約140万円の支出・宮城県から20万円の助成金収入となる予定。

【公益事業部】小野寺佳子

- 1) 平成 30 年 10 月 20 日 (土) 第 13 回大崎市健康と福祉のつどい
*宮城県放射線技師会と共同で頸動脈超音波検査を実施。
*来場者 406 名
ボランティア：大柳副会長、遠藤公益事業部門員
生理検査部門員 3 名、大崎市民病院スタッフ 5 名
- 2) 平成 30 年 11 月 3 日 (土・祝) 第 10 回白石市健康福祉まつり
*血圧脈波装置を使用した血管年齢測定を実施。
*来場者 50 名
ボランティア：小野寺、公益事業部門員 3 名、宮臨技会員 2 名
- 3) 平成 30 年 11 月 17 日 (土) 検査と健康展
*平成 30 年度全国「検査と健康展」報告書・臨床検査専門医山口医師の報告書・
来場者へのアンケート集計結果を資料として提出
*来場者 127 名、検査説明相談 (山口医師対応) 20 名。
ボランティア：理事・会員 28 名
相談内容は、頸動脈超音波検査の結果に対するものが多い。
来場者へのアンケート集計：来場者は 60~70 歳台女性が多く、泉区、富谷市内が多かった。来店後にイベントを知った方が 7 割。印象に残った検査は頸動脈超音波検査という回答が多く、参加しての感想は、よかった、楽しかった、満足という方が 7 割。1 月 12 日公益事業部門反省会を行い、来年度に向けた改善点を検討する。
- 4) 平成 30 年 10 月 21 日 (日) ピンクリボン推進委員会主催講演会
*小野寺、鈴木参加
- 5) 平成 30 年 11 月 8 日 (木) 国民栄養調査 (登米)
*小野寺参加
- 6) 平成 30 年 12 月 1 日 (土)「世界エイズデー」エイズ・梅毒即日検査会
*及川理事参加 225 名の検査を実施。
- 7) 平成 30 年度「世界エイズデー」に係る HIV・梅毒迅速検査
実施状況を報告。保健所によってはタイマーや白衣が配置されていないところがあったため、配置を要望した。
- 8) 平成 30 年 12 月 27 日 第 4 回ピンクリボン仙台推進委員
*鈴木参加
ピンクリボン推進委員会講演会の報告と次年度の取り組みについて協議された。来年度の講演会は平成 31 年 10 月 26 日 (土)、東北福祉大学仙台駅東口キャンパス 5 階 51 教室 (360 名収容) にて開催に決定。今年度は宮城県放射線技師会に講演を依頼したが、来年度は宮城県臨床検査技師会にもご協力いただきたいと依頼あり。現在県内で乳房超音波検査を専門に行っている臨床検査技師は数少ないが、4 月 6~7 日に日本乳がん検診精度管理中央機構のプログラムに則った研修会を計画しており、検査体制の充実を計っている。来年度は可能な限り講演会に協力できるよう、理事会にて検討すると返答。資料添付⑤

【広報部】金沢聖美 (武田広報副部長代理説明)
ニュースみやぎ学術特集号を 1 月末定期便に同封予定

【会計部】今野かおり、及川圭子
平成 30 年度「検査と健康展」の収支報告があった (及川理事)

※会場費無料、アミラーゼチップ在庫使用

【記念誌編集】 武田浩子

11 月末記念誌発送完了

作成冊数：1250 冊

費用：記念誌作成と発送費で 80 万円強

発送：DM 便 約 650 通、宅配便 11 個（名誉会員・招待者・宮城県・仙台市を含む）

【その他】

鈴木宏：検体採取等厚生労働省指定講習会について、来年度は仙台市にて年 2 回開催。それをもって、東北地区での開催は終了する予定。1 回目は 8/24～25 に開催される。

小塚・播磨：平成 30 年度仙台市衛生検査所立入検査は、今年度は市職員を含めた人員のうち 2 名がそれぞれ 3 月までに 2 箇所ずつ担当する予定。

大森：公益財団法人仙台市救急医療事業団の監事について、来年度以降は、藤巻会長に引き継ぐ事に決定。

次回理事会は 3 月 9 日(土)精度管理報告会前に開催することとなった。

以上

平成 31 年 1 月 16 日(水)

一般社団法人 宮城県臨床検査技師会

会長：藤巻 慎一

監事：大森 智子

監事：丸勢 共子